

発明クラブ工場等見学会

8月26日に発明クラブ員新規35名、継続32名、指導員14名が2台のバスに分乗し、日東電工豊橋事業所とスズキ歴史館の見学に行きました。

豊橋少年少女発明クラブ

発明クラブだより

NO. 6

2011

9・17

日東電工

日東電工で作られている粘着テープやフィルムがどこでどのように使われているのかなどの説明を受け、実際にテープを切る作業を体験させていただきました。



ゲーム機やパソコン、屋根の防水、海水を飲み水に変える、こんなところにまでテープやフィルムが使われているとは知らなかった。



テープを切るとき、きちんと切れないと不良品になってしまいます。一番細いのは0.8ミリ。機械も精密さが要求されるんだろうな。

国内だけでなく、世界にも工場があるし、環境のことも考えている会社だから、大きくなったら、働いてみたいな。

M (マテリアル) R (リサイクル) C (センター)
いらなくなったフィルム、粘着テープのすみっこなどを分別して新しい商品 (人工芝、エコバッグ、食器など) にすることに力を入れています。



捨てればゴミ

分ければ資源

スズキ歴史館

歴史館の中では館長さんに1時間ほど新車が作られる工程を詳しくお話していただき、その後、自分達で興味をもったところを見学しました。スズキの工場がある世界の国々のクイズに挑戦する子、実際の車に乗って模擬運転する子、スズキ自動車の歴史を探る子など、もの作り日本の技術を学習しました。



衝突したとき、車内の安全を考えた実験を繰り返しているのだから、安心だ。



デザインも、コンピューターでやるのでアイデアがすぐにいかされていくんだ。



車作りの工程でアイデアを出してから完成までにすごく苦労していることがわかりました。今まで、何も考えずに乗っていましたが、多くの人たちの思いがこもっていてびっくりしました。社長さんや働いている人たちが開発を重ね、ここまで進歩してきたので、もの作りの大切さや楽しさ、苦労がわかりました。

おとなになったらスズキの車に乗りたいと思いました。クイズや3Dが楽しかったのでもた、家族で来たいです

